

第1回宗像市地域公共交通活性化協議会議録

| | | | |
|----|--|----|-------------|
| 日時 | 平成21年11月9日(月) | 会場 | 宗像市役所301会議室 |
| 委員 | 稲田 亨 今永 徹 遠藤 敏光 遠藤千代香 桑野俊一郎 中村 正秋 古野 浩 三宅 徹 村上 和則 山崎 彰二 吉田 信喜 (50音順、敬称略) | | |
| 市 | 渡船課長 渡船係員 渡船係長 | | |

1. 開会

2. あいさつ

3. 委員の紹介

4. 会長及び副会長の選出

会長：桑原 俊一郎 副会長 宮内 順

5. 議事

(1) 平成20年度 宗像市地域公共交通活性化協議会決算について

【質疑応答】

補助金の出所はどこか。

国土交通省九州運輸局である。

(2) 平成21年度 宗像市地域公共交通活性化協議会予算(案)及び事業計画(案)について

【質疑応答】

・船の実証運航の時期について2月～3月となっているが、もう少し良い時期に変更できないか。

夏または秋の天候の良い時期に実施したかったが、国の補助金の決定のずれこみや、しおかぜのスラスタ工事を予定しており、諸事情を考慮すると3月上旬前後にし取れなかった。気候に不安はあるが3月に入れば大丈夫ではないか。

・平成21年度事業計画(案)概要、神湊～地島渡船実証運航の基本条件に神湊～鐘崎にバスを一台配備とある。何人乗りのバスを考えているのか。また予算に入っているのか。中型ぐらいを考えている。予算には入っていない。昨年計画案の作成を行い、今年から

3ヵ年実証運行を行うことになっているが、21年度の計画の中にバスは含めていなかったため、その点は市の単費で賄うことになり、別途確保する。

6. その他

報告事項

- ・ 地域公共交通活性化・再生総合事業計画の認定について
- ・ 調査業者の選定について

【質疑応答】

- ・ 本来ならば次回協議会の日程を調整することになるが、今後の流れはどうなっているのか。

11月下旬から12月上旬に大島島内で乗合タクシーの実証運行を予定している。その結果を踏まえて事後評価を行い、報告書を作成しなければならないので、その際に委員会を開催したい。1月中を予定している。

- ・ しおかぜの運航は3月予定で、デマンドタクシーの運行は11月下旬から12月上旬だが、大島を訪れる人が少ない頃だと思う。その結果のデータを出して影響はないのか。3月の暖かい時期に運行しないのか。

1月に事後評価として運輸局に報告が必要である。また、デマンドタクシーは観光客も対応するが、実際は住民の利便性を検証するので、調査対象者が島外の方よりも島内の方になるため、時期はあまり影響しない。

- ・ 観光モニターはいくらを予定しているか。

基本的に弁当代と往復渡船料がかかるが、パックにはできない。渡船料は算出中である。

- ・ 前は無料だったため人数制限したが、今回有料なので人数制限せず船の定員オーバーにならない程度に引き受けられるのではないかと？

モニターツアー自体は人数制限する。地島の受入態勢の問題で不特定多数が来ると対応できない。船に乗っていただくのは構わないが、モニターツアーは弁当の手配が必要になるので20～30名程度で募集をしたい。

- ・ 3月の椿まつりは3月第二土曜日に開催しているが、渡船の実証運航は何日を予定しているのか。

運航は2月下旬から3月中旬を設定している。椿まつりは3月13日になる。また通常椿まつりの時はしおかぜが臨時便として運航するが、神湊から廻すと帰りの船を間違えるなどの混乱をまねくのではないかと。問題がなければ椿まつりと合わせて行きたいが、混乱が生じるならば、その日は外さなければならない。椿まつりの時にどう運航するかは検討中である。

外したほうがよい。椿まつりの時は島内全部休みにしているので、わかめ体験などは他の日の方が対応できる。

地元の方との協議が必要であり、その時点で双方の考えを調整する必要がある。

- ・ デマンドタクシーについて、乗客のかたに無料で乗って頂くということだが、宗像市と運行事業者が貸切契約をするのか。また、デマンドということは事前の予約制をとるのか。

コース1は生活路線なのでデマンドで運行しなくても需用が見込める。しかしコース2は先まで行く、行かないで距離が変わってくる。電話をしていただいたほうが確実に乗客がいるという確認ができる。バス待ちの場所があるわけではなく、今後バス停表示をしなければならないが、デマンドとの併用の方がいいと思う。今回はみなとタクシーさんが運行するが、できるかできないかの検証も含め定時運行的にダイヤを組んだ。主要拠点においてルートとダイヤの掲示、船で来られた方への広報を行う予定である。

- ・ タクシー型を用いた場合は定員が少なくなる。無料のため多数の乗客が見込まれた場合、積み残しが生じた場合の対応はどうか。

島では車輛手配が困難であり、追走できない。そのため広報で周知していきたい。今回の運行でどれくらい需用があるのかのデータになるので、積み残しの問題を含め車輛確保のための資料にしたい。

- ・ 土曜日は平日か、または休日になるのか。

土曜日、また祝日は休日扱いになる。

- ・ 無料のときは乗り手が多くても、有料になった場合はどうなるのか。

様々な地域において無料で運行している福祉バスについて、有料化の検討がされている。有料化されてもお年寄りの方は移動手段がないので、100円でも200円でも払って乗りたいという人が多い。今回のアンケートで「200円とした場合、あなたは利用しますか?」という設問を入れている。200円は宗像市で運行しているコミュニティバスの運賃である。

7. 閉会

【配布資料】

1. 第1回宗像市地域公共交通活性化協議会次第
2. 委員名簿
3. 平成20年度決算書
4. 平成20年度収支計算書
5. 平成21年度予算書(案)
6. 平成21年度事業計画(案)の概要